

実務経験のある教員等による授業科目一覧【2024年度】

授業科目名	時間数	規定時間数	担当教員名	授業科目の概要と担当教員の実務経験との関連
人間の尊厳と自立	30 時間	30 時間	町田 晴美	高齢者福祉施設の介護職員、居宅介護支援事業所の主任介護専門員などの経験がある教員が、人権の歴史、人権擁護、尊厳の保持など多面的理解と介護における人権擁護、尊厳の保持を講義する。
人間関係とコミュニケーション	60 時間	60 時間	長島 隆行	高齢者福祉施設の介護職員、介護支援専門員、主任介護支援専門員として利用者とかかわった経験がある教員が、介護実践のために必要な人間の理解や他者への情報伝達方法などを講義する。
社会の理解 I	30 時間	30 時間	町田 晴美	高齢者福祉施設の介護職員、居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員として利用者及び家族を制度の側面を基に支援した経験がある教員が、人間の生活と社会のかかわり（社会保障制度）を講義する。
社会の理解 II	30 時間	30 時間	松浦 信二	高齢者福祉施設の相談員として利用者及び家族を制度の側面を基に支援した経験がある教員が、介護に関する社会保障制度、施策について講義する。
児童福祉論	30 時間	30 時間	萬燈 章雄	埼玉県福祉職として35年勤務し、退職後は市町村支援専門員である教員が児童福祉に関する制度、施策、課題について講義する。
介護の基本 I	60 時間	60 時間	齊藤 晋助	介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、介護課係長を務めた経験のある教員が、施設における事例を取り上げながら、尊厳を支える介護やノーマライゼーション、介護問題の背景等について講義する。
介護の基本 II	60 時間	60 時間	町田 晴美	高齢者福祉施設の介護職員、生活相談員、介護支援専門員などの経験のある教員が、現代における社会状況や介護サービスの特性について講義する。
介護の基本 III	60 時間	60 時間	齊藤 晋助	介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、介護課係長を務めた経験のある教員が、自立に向けた暮らしを支えるための介護における安全な暮らしの確保とリスクマネジメントについて講義する。
コミュニケーション技術 I	30 時間	30 時間	森本 裕子	市町村社会福祉協議会の訪問介護員、人材養成担当、訪問介護事業所管理者の経験がある。また、現在市町村手話通訳要約筆記派遣事務所専任通訳者に従事しており介護支援専門員としても介護を必要としている人やその家族とかかわっている教員が、介護場面における利用者と家族とのコミュニケーションについて講義する。
コミュニケーション技術 II	30 時間	30 時間	野澤 和代	長年、高齢者福祉の現場に携わり、平成24年より通所介護・訪問介護事業所を運営している。介護福祉士、認知症ケア専門士等の資格を持ち、現在も実際の現場で訪問介護の支援を行う経験のある教員が、多職種との役割と機能、地域連携と多職種連携について講義する。

生活支援技術 I -①	30 時間		野澤 和代	長年、高齢者福祉の現場に携わり、平成24年より通所介護・訪問介護事業所を運営している。介護福祉士、認知症ケア専門士等の資格を持ち、現在も実際の現場で訪問介護の支援を行う経験のある教員が、居住環境の整備について基本的な知識と技術について講義する。
生活支援技術 I -②	60 時間	90 時間	野澤 和代 町田 晴美	長年、高齢者福祉の現場に携わり、平成24年より通所介護・訪問介護事業所を運営している。介護福祉士、認知症ケア専門士等の資格を持ち、現在も実際の現場で訪問介護の支援を行う経験のある教員が、居住環境の整備について基本的な知識と技術について講義する。(野澤) 高齢者福祉施設の介護職員、生活相談⑥、介護支援専門員などの経験のある教員が応急手当や災害時における生活支援について講義する。
生活支援技術 II -①	60 時間	60 時間	齋藤 晋助 松田 拓央	介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、終末期ケアの経験のある教員が、自立に向けた移動の介護及び福祉用具の意義と活用について講義する。(齋藤) 介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、小規模多機能型居宅介護事業所の管理者として勤務している教員が、介護を必要とする人の状態、状況に応じた安全での確、自立に向けた移動の介護技術を演習と講義をする。(松田)
生活支援技術 II -②	60 時間	60 時間	町田 晴美 齋藤 晋助 鈴木 直人	高齢者福祉施設の介護職員、生活相談員、介護支援専門員などの経験のある教員が、食事と排泄の介護における基本的な知識と技術について講義と演習をする。(町田) 介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、終末期ケアの経験のある教員が、食事・排泄の介護における基本的な知識と技術について講義と演習をする。(齋藤) 介護福祉士として介護老人保健施設で高齢者支援及び実習生の指導等の経験のある教員が、食事と排泄の介護における基本的な知識と技術について講義と演習をする。(鈴木)
生活支援技術 II -③	60 時間	60 時間	齋藤 晋助 町田 晴美	介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、終末期ケアの経験のある教員が、身じたく、入浴・清潔保持の介護における基本的な知識と技術について講義と演習をする。(齋藤) 高齢者福祉施設の介護職員、生活相談員、介護支援専門員などの経験のある教員が、身じたく、入浴・清潔保持の介護における基本的な知識と技術について講義と演習をする。(町田)
生活支援技術 II -④	30 時間	30 時間	鈴木 直人	介護福祉士として介護老人保健施設で高齢者支援及び実習生の指導等の経験のある教員が、睡眠・休息、人生の最終段階における介護の基本的な知識と技術について講義と演習をする。
介護過程 I	30 時間	30 時間	齋藤 晋助	介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、個別援助計画を作成し、実際に支援を行ってきた教員が、施設における事例等も取り上げながら、介護過程の意義・目的、一連のプロセスについて講義する。
介護過程 II	30 時間	30 時間	鈴木 直人	介護福祉士として介護老人保健施設で高齢者支援及び実習生の指導等の経験のある教員が、施設における事例等も取り上げながら、介護過程の意義・目的、一連のプロセスについて講義する。
介護過程 III	30 時間	30 時間	長島 隆行	高齢者福祉施設の介護職員を経験し、現在は施設長として勤務している教員が、利用者の状況に応じた介護過程の展開を演習と講義にて教授する。
介護過程 IV	30 時間	30 時間	野澤 和代	長年、高齢者福祉の現場に携わり、平成24年より通所介護・訪問介護事業所を運営している。介護福祉士、認知症ケア専門士等の資格を持ち、現在も実際の現場で訪問介護の支援を行う経験のある教員が、居住環境の整備について基本的な知識と技術について教授する。

介護過程 V	30 時間	30 時間	30 時間	町田 晴美 齊藤 晋助	高齢者福祉施設の介護職員、介護主任の経験があり個別援助計画を作成していた教員が、生徒が実習において介護過程を振り返り個別指導を実施する。
介護総合演習 I	60 時間	60 時間	60 時間	齊藤 晋助	介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、施設の実習指導を担当していた教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習及び介護観が形成できるように指導を行う。
介護総合演習 II	60 時間	60 時間	60 時間	町田 晴美	高齢者福祉施設の介護職員、生活相談員、介護支援専門員などの経験のある教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習及び介護観が形成できるように指導を行う。
介護実習 I	120 時間	450 時間		齊藤 晋助	高齢者福祉施設の介護実習指導者として実習生にかかわり指導した経験がある教員が、実践の場での必要な知識や技術などについて施設と連携しながら生徒に指導する。
介護実習 II	336 時間			町田 晴美	高齢者福祉施設の介護実習指導者として実習生にかかわり指導した経験がある教員が、実践の場での必要な知識や技術などについて施設と連携しながら生徒に指導する。
こころとからだのしくみ I	30 時間	30 時間	30 時間	齋藤 美幸	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、介護技術の根拠となる人体の構造や機能と食事、入浴、排せつなどの動作と関連付けて介護のポイントを講義する。
こころとからだのしくみ II	30 時間	30 時間	30 時間	齋藤 美幸	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、介護技術の根拠となる人体の構造や機能と食事、入浴、排せつなどの動作と関連付けて介護のポイントを講義する。
こころとからだのしくみ III	30 時間	30 時間	30 時間	齋藤 美幸	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、心理学の基礎について多領域にわたって概観し高齢者や障害者の心理について講義する。
こころとからだのしくみ IV	30 時間	30 時間	30 時間	齋藤 美幸	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、健康なからだのしくみを中心に、からだのしくみ、からだの構造や機能、老化などについて講義する。
発達と老化の理解 I	30 時間	30 時間	30 時間	齋藤 美幸	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、発達心理視点で人の発達を誕生から死まで概観し、特に高齢者の心的変化と日常生活の関係を講義する。
発達と老化の理解 II	30 時間	30 時間	30 時間	齋藤 美幸	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、発達心身の視点で人の発達を誕生から死まで概観し、特に高齢者の身体的・心理的变化と日常生活の関係を講義する。
認知症の理解 I	30 時間	30 時間	30 時間	野澤 和代	高齢者福祉事業所（居宅介護事業所）の介護職員及び生活相談員として勤務した経験があり、現在は通所介護事業所と訪問介護事業所を運営管路している。また、自らも訪問介護職員として働いている。認知症ケア専門士の資格を取得していることから重度の認知症の方を受け入れているなど実践がある教員が、認知症を取り巻く状況、医学的に見た認知症の基礎について講義する。

認知症の理解Ⅱ	30 時間	30 時間	野澤 和代	高齢者福祉事業所（居宅介護事業所）の介護職員及び生活相談員として勤務した経験があり、現在は通所介護事業所と訪問介護事業所を運営管路している。また、自らも訪問介護職員として働いている。認知症ケア専門士の資格を取得していることから重度の認知症の方を受け入れているなど実践がある教員が、認知症の中核症状とBPSD、行動の背景や具体的な対応策になどごとについて講義する。
障害の理解Ⅰ	30 時間	30 時間	福應 渉	障害者福祉施設の介護職員を経験し、准看護師の資格と介護福祉士の資格を取得しており現在は施設長として勤務している教員が、現場で経験した障害の種類や特性などの事例を提示しながら障害についての理解と関係性、ケアについて講義する。
障害の理解Ⅱ	30 時間	30 時間	福應 渉	障害者福祉施設の介護職員を経験し、准看護師の資格と介護福祉士の資格を取得しており現在は施設長として勤務している教員が、現場で経験した障害の種類や特性などの事例を提示しながら障害についての理解と関係性、ケアについて講義する。
医療的ケアⅠ （講義）	32 時間	50 時間	後藤喜美子	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア（喀痰吸引の医行為）実施の歴史や基礎知識について講義する。
医療的ケアⅢ （講義）	18 時間	50 時間	後藤喜美子	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア（経管栄養の医行為）実施の歴史や基礎知識について講義する。
医療的ケアⅡ （演習）	15 時間	30 時間	後藤喜美子 永野 令子 吉田 澄枝 伊賀 裕子	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（後藤） 大学病院、介護保険施設に看護師、として勤務した経験がある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（永野） 医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（吉田） 医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（伊賀）
医療的ケアⅣ （演習）	15 時間	30 時間	後藤喜美子 永野 令子 吉田 澄枝 伊賀 裕子	医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（後藤） 大学病院、介護保険施設に看護師、として勤務した経験がある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（永野） 看護師として医療機関での勤務経験もある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（吉田） 看護師として医療機関での勤務経験もある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をする。（伊賀）
合計時間数	1826	1820		
省令で定める基準授業時数		160		